

**テクノホライゾングループ  
2010年中期経営計画見直しについて**

**2011年5月13日**

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

## 見直しの背景と理由

---

- ◆ 当社グループにおきましては、昨年5月に「テクノホライゾングループ2010年中期経営計画」(以下、「本中期計画」という。)を策定し、グループ会社各社が本中期計画達成のために、様々な施策に真摯に取り組んでまいりました。
- ◆ その結果、本日公表の「平成23年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)」にて開示しましたとおり、売上面・利益面ともに、本中期計画における初年度グループ数値目標を達成することができました。
- ◆ しかしながら、本中期計画策定後に進んだ急激な円高が、海外販売比率の高い当社グループに与える影響を考慮し、本中期計画～2011年度(平成24年3月期)及び2012年度(平成25年3月期)～の見直しを実施いたしました。

## 今後の経営重点施策（1/3）

---

本中期計画におきましては、「新事業の創出」と「グローバル化」を戦略の柱として、健全な企業成長と企業価値の着実な向上を目指すことをコンセプトとしております。この基本方針に変更はありませんが、経営環境の変動を踏まえ、特に以下の点に注力した経営を進めてまいります。

### 1. 書画カメラ単品販売からクラスルームソリューション（CRS）への展開

光学事業の主力製品である書画カメラの最大市場は米国初等教育市場ですが、市場が成熟し成長が鈍化してまいりました。この状況に適切に対応するために、当社グループは、書画カメラと関連するクラスルームソリューション（CRS）機器の開発並びにソリューション提案を積極的に推し進めます。

「クラスルームソリューション（CRS）」とは「授業をする先生を手助けする仕組み」のことです。当社グループが持つノウハウ・既存販路・知名度の強みを最大限活用し、より効果的な教育の実現に貢献できるよう、現場ニーズに合致したCRS機器の開発、普及に取り組んでまいります。

## 今後の経営重点施策（2/3）

---

### 2. グローバル化の推進強化

#### ① 電子事業の海外マーケット進出

従来はほぼ国内市場のみでビジネスを展開しておりました電子事業ですが、本年1月に中国江蘇省蘇州市にFA関連機器等の開発・製造・販売を行なうため、新会社を設立し、グローバル化の第一歩を踏み出しました。人件費の高騰と人手不足を背景に、中国製造現場でのFA(工場自動化設備)投資が本格化していくなか、当社グループが永年培ってきた産業機械用制御技術を活用し、中国製造業市場の拡大していくニーズに対応してまいります。

#### ② 光学事業の更なるグローバル化推進

光学事業では、従来販売の中心であった欧米市場に加え、アジア新興国需要の開拓を目的に中国・インドに販売会社等を設立し、グローバルな拠点網を整備、拡大してまいりました。海外製造拠点(中国・タイ)強化と合わせ迅速な行動により、更なるグローバル化を推し進めます。

## 今後の経営重点施策（3/3）

---

### 3. オプト・エレクトロニクス技術を活かした新規事業の創出、新製品の投入

当社グループの特長は、オプトロニクス(光学)とエレクトロニクス(電子)の両面に強みを持っている事業グループであるという点だと考えております。この強みを最大限活かし、オプト・エレクトロニクス事業でのシナジーを強化すべく、グループ会社間共同での研究開発活動等を積極的に進めております。

また、時代の変化に俊敏に対応していくために当社グループ内での再編も積極的に進めてまいります。

# 【当初計画】

## グループ数値目標

(単位:百万円)	2009年 実績	2010年 実績	2011年	2012年
売上高	34,581	46,640	49,000	52,000
営業利益	630	1,297	1,350	2,000
営業利益率	1.8%	2.8%	2.8%	3.8%
経常利益	704	1,166	1,300	1,900
当期純利益	267	909	700	1,100
ROE	3.7%	10.8%	7.3%	10.1%

注1:当社は、2010年4月1日に(株)タイテックと(株)エルモ社が株式移転することにより、共同持株会社として設立されました。従いまして、2009年実績数値は従前の連結親会社である(株)タイテック2010年3月期連結実績数値を記載しております。

注2:2009年実績数値に含まれる(株)SUWAオプトロニクスの実績数値は2カ月分のみです。

注3:2010年実績数値には、特別利益として負ののれん発生益380百万円が含まれております。

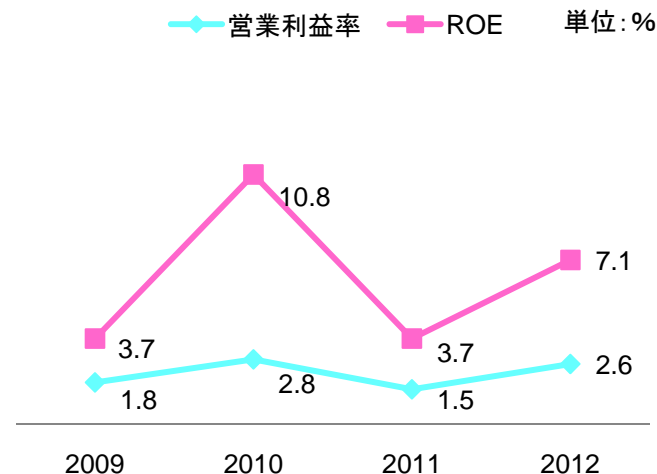
# 【修正計画】 グループ数値目標

(単位:百万円)	2009年実績	2010年実績	2011年	2012年
売上高	34,581	46,640	49,000	52,000
営業利益	630	1,297	740	1,340
営業利益率	1.8%	2.8%	1.5%	2.6%
経常利益	704	1,166	600	1,200
当期純利益	267	909	350	700
ROE	3.7%	10.8%	3.7%	7.1%

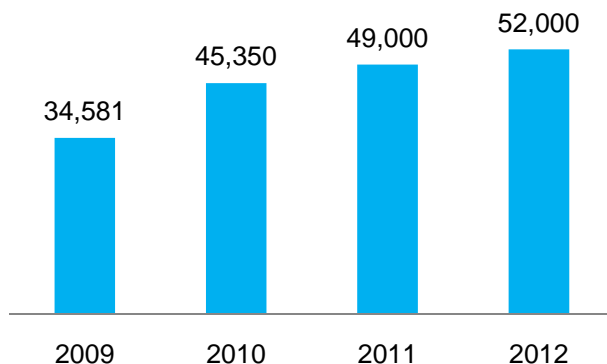
注1: 当社は、2010年4月1日に(株)タイテックと(株)エルモ社が株式移転することにより、共同持株会社として設立されました。従いまして、2009年実績数値は従前の連結親会社である(株)タイテック2010年3月期連結実績数値を記載しております。

注2: 2009年実績数値に含まれる(株)SUWAエレクトロニクスの実績数値は2カ月分のみです。

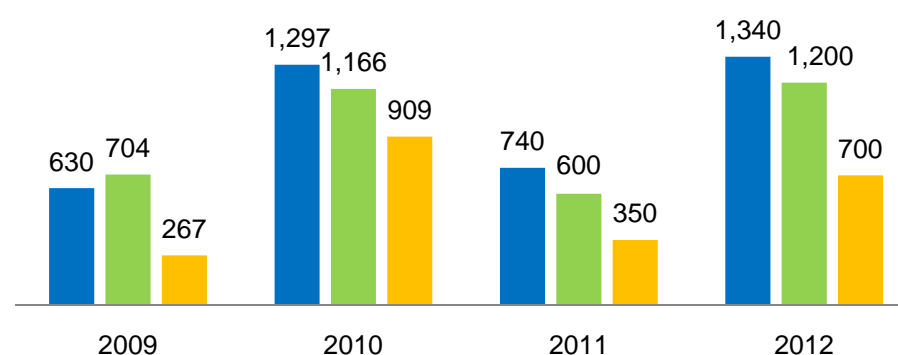
注3: 2010年実績数値には、特別利益として負ののれん発生益380百万円が含まれております。



■売上高 単位: 百万円



■営業利益 ■経常利益 ■当期純利益 単位: 百万円



## IR担当窓口

- 部署：テクノホライゾン・ホールディングス株式会社
- 役職：総務部長
- 氏名：加藤 靖博
- 電話：052-823-8551
- FAX：052-823-8560
- E-mail： [info@technohorizon.co.jp](mailto:info@technohorizon.co.jp)

## 将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

**TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.**

